

才と雖も吾人は此上の諸理由に依り、此の除害の
業に就くを以て最も要否なる道なきを確信し
茲に四院之團員、就業を宣言する所、此以なり

大正元年八月九日

神學部
三三三
神學團本部

1910年9月14日
199

神ノ労働
年議中の演説會概况

年議前の進退會

五月下旬、右様に於ける労働年議勃発以來、六月下旬
鎮靜に帰する其の間、神ニ於ては友友會合、神ノ存在
合中中心として、神ノ中心の各労働組合の下の四回
労働者大会を開き、右の労働年議の成否を
議に及四回労働者大会は六月二十六日、日本刺坊に於て
開催した。此に既に神ノ労働者も余程動搖を呈し、
たう。この席上川崎造船所、藤上り、電氣、新井
の青柳善一氏は、是方勝利を叫ぶ熱氣を呈せ